

平成 28 年度 大阪アクティブシニア協会 理事長コメント集

2016 年

4 月

- ◆OASA 三役会(平成 27 年度最終回) 八木新事務局長を迎えての会合となり、6 期通常総会に向けての検討会が中心になった。組織も一部見直し、人事面での検討が課題となった。新たな陣容で、更なる発展をめざしていきたい。

5 月

- ◆大阪アアクティブシニア協会 第 6 回通常総会 正会員 18 団体、理事、賛助会員総数 30 名の参加で平成 27 年度活動報告ならびに平成 28 年度活動方針が承認された。来賓に大阪府 菱谷課長、大阪市教育会館 平澤理事長および高大 三田副理事長をお迎えし開催できましたことに改めてお礼申し上げます。平成 28 年度は 5 年目となる。大阪 200 万人 (65 歳以上) のシニアの皆さんが、自ら行動するアクティブシニアとして地域に密着した社会参加活動を展開していきたいと考えている。

6 月

- ◆大阪アクティブシニア協会の三役会 (第 1 回)が開催された。新しい顔ぶれに、これからの運営に期待感が持たれる。アクティブシニアがあふれる大阪事業が、大阪府の方針が平成 29 年度で終了となる。その受け皿として、新たな高齢者計画を構築していきたい。

7 月

- ◆OASA 第 2 回理事会を開催し、「一般社団法人 心学明誠舎」の正会員入会を承認した。19 団体となる。アクティブシニアフェスタ 2017 の開催日 2017 年 3 月 9 日(木) を内定、開催地は選考中である。アクティブシニアがあふれる大阪事業は、大阪府の委託事業として 9 月目途に提案する。大阪出前サポートバンク事業は、順調に活動を展開しています。
- ◆大阪滋慶学園の日本の伝承玩具教室は 2 回実施し中国の留学生に好評を得た。また、小学校いきいき教室は 7 回実施され活動の柱となっている。スタッフの皆さんのボランティア活動に感謝申し上げます。

8 月

- ◆OASA 三役会(8 月 25 日)でアクティブシニアがあふれる大阪事業の提案書が承認された。高齢者の生活課題 Part II テーマ「健康と地域生活」を 4 項目の事業テーマに分けて推進することになる。元気なシニアの生活支援の担い手を養成する人材育成を考えて いたいと思っています。
- ◆アクティブシニアフェスタ 2017 (2017 年 3 月 9 日(木) 開催予定)の第 2 回実行委員会を開催。イベントの趣旨を確認した。
 - ①健康な仲間を増やし、笑顔溢れる交流の場を作る。
 - ②元気なシニアボランティアが芸能や地域での活動を披露する場の提供とする。
 - ③高齢者が活動を通じて、健康づくりと福祉の向上を府民の方々に広く、楽しくアピールする場としていきたい。

9月

◆OASA 第3回理事会 9月29日に開催。

- ①アクティブシニアがあふれる大阪事業は、大阪府下6地域に分けて、健康と地域生活の楽しさや魅力を講義形式及び実践形式によりアクティブシニア養成講座を実施することを確認した。
- ②アクティブシニアフェスタ2017は、2017年3月9日(木) 10:00~15:00 大阪市北区民センターで開催することを決定した。
- ③正会員 NPO 法人大阪府民カレッジが入会し、20団体となった。

10月

◆ OASA 三役会(10月27日)開催。

- ①アクティブシニアフェスタ2017 実行委員会の推進、展示出店団体の絞り込み、演芸コーナーの企画、広報について目途をつけた。
- ②アクティブシニアがあふれる大阪事業の推進、実施地区のテーマ選定と実施計画。
- ③5年先を見据えた OASA 戦略(ビジョン)アクションの検討を推進する。
- ④子ども基金運用規定(案)、交通費規定(案)を次回の理事会で承認を得る。

◆おおさか環境ネットワークに参加して。

国連は、SOGs(Sustainable Development Goals)を発表した。すなわち人類の生きる持続可能な開発目標を定めた。

国連加盟国の諸目標17項目(アジェンダ)を達成すべく力を尽くすことになる。アジアでは、日本では、関西では何を目指すべきかを議論を深めていくことになる。

11月

◆OASA 理事会(第4回)下記の事項が承認され推進。

- ①アクティブシニアフェスタ2017の詳細が検討され12月中旬よりチラシ配布を行う。
- ②アクティブシニアがあふれる大阪事業は、6地域での実施計画が大阪府で承認。
- ③大阪出前サポートバンク事業は、いきいき教室、デイサービスボランティア活動を積極的に展開している。2月3月全労済サポート事業を実施する予定である。
- ④おおさか環境ネットワークに入会し、新たな事業展開の可能性を検討していく。
- ⑤大阪アクティブシニア協会の事業ビジョン(案)を作成し、今後の検討課題として大阪府との協働作業を進める。
- ⑥OASA パンフレットの平成28年度版を発表。
- ⑦OASA 子ども基金運用規定、OASA 交通費規定を一部修正して承認。

12月

◆OASA 三役会(12月21日)

- ①アクティブシニアフェスタ2017のパンフレット(6ページ)が完成。1月初旬までに関係部署に配送する。12000部。
- ②アクティブシニアがあふれる大阪事業は、12月20日6地域での詳細な企画内容を大阪府に説明し了承を得る。第1回1月14日豊中でスタートする。

③渉外部門

- イ. 大阪市いきいき教室は、SA グループの協力で順調に活動。12 月現在 30 回を 超える。
- ロ. 全労済 2 月 5 日(日)池田商工会議所/手づくりおもちゃ教室、
3 月 12 日(日)難波御堂筋ホール/手づくりおもちゃ教室イベントを出前準備中。
- ハ. 船場デイサービス 6 月～11 月で 12 回実施。好評である。

④事務局部門

- イ. 子ども基金運用規定、交通費規定は、字句の表現に異議があり検討したうえで次回の理事会で承認を得ることとする。
- ロ. 高大祭に出展。アクティブシニアフェスタに向けたプレゼン 1 分間映像を提供。好評を博した。

(12 月は、家族や自身の病気で体調を崩す人が多く、恒例の懇親会は中止になった)

2017 年 1 月

- ◆健康づくりトレーナー養成講座(豊能地区、三島地区)アクティブシニアがあふれる大阪事業がいよいよスタート。講師:大阪レクリエーション協会堅本盛行氏が担当。「講話:健康長寿を目指して」引き続き実践「実技:転倒予防(ロコモティブ)の為の 2 重課題トレーニング」を入れて楽しく実施。地域の OB の方々の多くの参加で大いに盛り上がりました。講座を終えられた方には修了証書をお渡しする。

2 月

- ◆平成 28 年度アクティブシニアがあふれる大阪事業を実施した。地区実行委員長ならびにスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。
 - ①健康づくりトレーナー養成講座 三島地区(吹田市)38 名、豊能地区(豊中市)34 名
三島地区(茨木市)31 名、南河内地区(羽曳野市)33 名
 - ②音楽療法による高齢者の介護予防サポーター養成講座 中河内地区(東大阪市)30 名
 - ③里山保全の体験養成講座 南河内地区(富田林)31 名合計 167 名+スタッフ 50 名

3 月

- ◆第 9 回アクティブシニアフェスタ 2017 を平成 29 年 3 月 9 日(木)大阪市立北区民センターで開催。入場者 1,050 名、平日にもかかわらず多くの参加者で盛り上がった。天満天神花娘の参加、関西テレビ放送の後援、阿波踊りの出演など過去にない特徴を持ったものになった。趣味を生かした演芸、福祉から子供向けまで幅広い展示ブース、ニュースポーツ、自彊術などの実演が行われた。参加正会員 20 団体協賛・後援 23 団体。多くの皆さんのボランティアによって支えられました。心より感謝。ありがとうございました。